



(電子版)

info@jikosoren.jp

2017年 第16号 2017年7月24日

発行：自交総連本部

〒110-0003 東京都台東区根岸2-18-2-201

tel. 03-3875-8071 fax. 03-3874-4997

ライドシェア阻止のため共同行動を ハイタク8団体が全タク連と意見交換

ナショナルセンターの枠を超えてハイタク関係の主要労組が集まったハイタク8団体（注）は6月29日、全タク連と意見交換会を行い、ライドシェア阻止のための共同行動などについて要請、全タク連側は、リーフレット作成費用の負担、タクシー車両への配置などを行いたいと答えました。

ハイタク8団体は5月から意見交換を何度か行い、ライドシェア問題での共同を話し合ってきました。全タク連との意見交換につづき、8月5日には東京都内各駅で各労組共同での宣伝にとりくむことにしています。

注. ハイタク8団体＝交通労連、KPU、自交総連、私鉄総連、全自交労連、全中労、東京ハイタク中立労組、労供労連

ハイタク8団体と全タク連の意見交換であいさつする全タク連川鍋会長＝6月29日、自動車会館



【2017. 6. 29 全タク連とハイタク8団体の意見交換】

参加者 全タク連 川鍋会長、川野副会長、武居労務委員長、神谷理事長ら計9人
8 団 体 交通労連小川副委員長、KPU藤野副委員長、自交総連高城委員長、私鉄総連池之谷ハイタク協議会議長、全自交労連松永書記長、全中労小島副議長、東京ハイタク中立労組松浦議長、労供労連佐々木タクシー部長ら計18人

要 請 事 項	回 答 要 旨
	(川鍋会長あいさつ) 一昨日(6月27日)の全タク連総会で新会長になった。労使が一体となったたかう状況になっていることをうれしく思う。いまのところ外敵(ライドシェア)を封じ込めた感があ

——ライドシェア反対のリーフレットの活用について、全タク連で費用分担をし、車両に配置してほしい

——過疎地、交通空白地の高齢者・障害者への対応について、国に補助金増額の要望を

——リーフ等も使ったハイタク関係者による統一行動の実施について

るが、嵐の前の静けさともいえる。

政治や行政から（業界のライドシェア対抗策に）期待が寄せられている。初乗距離短縮は菅官房長官から注目されているという話があった。規制改革推進会議でとりあげられた“のってこ”の問題は中長期的に大きな穴となりかねない。行政には（穴にならないように道路運送法の）理屈をしっかりと考えてほしいと言っている。

今後、自動運転技術が進展していく。最初に実用化されるのはアシスト機能で労働者の役に立つものだ。問題は、（技術開発を）誰がやるのかだ。二種免許を持った人が運転できることが重要で、そうした未来をタクシー会社抜きでやろうという動きがある。相手を見極めないといけない。全タク連ではトヨタと協定を締結する。タクシーのことを理解してもらっている。タクシー会社はいらないと思っている人たちには気をつけなければならないと思っている。

今後、全タク連の活性化対策11項目を中心にタクシーを進化させていきたい。

（神谷理事長）以前から、協力すると申し上げてきた。全タク連で費用を出し、全国20万台のタクシーに配備する。大阪でタクシー協会と組合が共同してやったのはいいことだ。大阪方式で全国でやればいいと思う。

（神谷理事長）当然のことと思う。国交省関係だけでなく地方創生の方の予算でも措置できることなので、とりくんでいきたい。労使でやっていきたい。

（武居労務委員長）自民党との兼ね合いもあり、昨年3・8集会のときは（共催でなく）代表参加となった。ライドシェアの問題で労使一体でやるという意識はあるが、統一行動となると、各事業者にもはからなければいけないので、すぐに答えることはできない。